

1 実習期間

令和5年8月21日（月）から8月25日（金）の5日間

日程	研修内容	担当
1日目	全体オリエンテーション 福井県主要プロジェクト紹介 福井県での働き方 職場見学	人事課
2日目	各受入所属での就業体験	受入所属
3日目		
4日目		
5日目	インターンシップ総括 職員への質問タイム	人事課

2 受入予定実習生数

100名程度

3 申込手続

福井県庁インターンシップ実施要綱により、電子申請にて学生ご自身で申込手続きをしてください。

4 受入職種・期間・所属等一覧

(選択番号) 職種	実習所属		受入 日数	受入 予定数	主な実習内容
(1) 行政	①	総務部 広報広聴課 大学私学課	合計 3日間	4名	・広報、報道、広聴業務 ・高等教育関連業務
	②	未来創造部 未来戦略課	3日間	2名	・幸福度日本一のふくいブランド発信や SDGs普及促進の企画・業務補助
	③	未来創造部 県民協働課	3日間	1名	・県民協働課の仕事紹介 ・NPO現地調査
	④	未来創造部 新幹線建設推進課	3日間	1名	・新幹線建設推進課の仕事紹介 ・北陸新幹線の整備促進に関する業務補助
	⑤	未来創造部 統計調査課	3日間	1名	・統計調査業務の補助 ・公表資料等の作成補助
	⑥	防災安全部 県民安全課 消防保安課 危機管理課	各課 1日	3名	・県民安全課業務の補助、 消費生活センター見学 ・消防学校、防災航空事務所見学 ・災害情報通信指令の体験 ・災害現場の視察と意見交換
	⑦	交流文化部 魅力創造課 定住交流課	合計 3日間	2名	・歴史魅力向上ディレクターとの意見交換 ・食ブランドの企画補助 ・恐竜博物館の見学 ・UIターン施策の企画補助
	⑧	交流文化部 観光誘客課（県観光連盟） 新幹線開業課	合計 3日間	2名	・受入日における観光行政事務 補助やイベント運営補助など
	⑨	交流文化部 文化・スポーツ局文化課	合計 3日間	1名	・街なかでの芸術振興の企画立案 ・朝倉氏遺跡利活用の企画立案 ・日本遺産活用の企画立案 等
	⑩	エネルギー環境部 環境政策課	3日間	1名	・県民への省エネ運動の普及に関する意見 交換・政策立案 ・環境教育に関する意見交換・政策立案 ・環境監視地点等の現場確認 ・カーボンニュートラルディレクターの業務補助

(選択番号) 職 種	実習所属		受入 日数	受入 予定数	主な実習内容	
(1) 行政	⑪	エネルギー環境部	循環社会推進課	3日間	1名	・当課施策（一般廃棄物・産業廃棄物の減量化・リサイクル・処分）についての説明、事務補助、企画立案
	⑫	エネルギー環境部	自然環境課	3日間	1名	・自然公園管理に関する業務補助 ・自然環境保全に関する業務補助 ・里山里海湖研究所の講座等の運営補助 ※技術(自然保護)または行政どちらか1名
	⑬	健康福祉部	長寿福祉課	3日間	1名	・高齢者福祉施策に係る政策立案 ・介護事業所、フレイル予防活動の見学
	⑭	健康福祉部	障がい福祉課	3日間	1名	・共生社会推進に関する意見交換、企画補助等
	⑮	健康福祉部	こども未来課 児童家庭課	合計 3日間	1名	・「ふく育県」の取組み紹介 ・子育て支援施策に関する意見交換等
	⑯	健康福祉部	健康政策課	3日間	1名	・国民健康保険事業年報補助業務 ・健康関連データ集計業務
	⑰	健康福祉部	保健予防課	3日間	1名	・がん相談支援センター、難病支援センターの見学 ・がん対策、感染症対策等の業務補助
	⑱	産業労働部	国際経済課	3日間	1名	・国際経済課の仕事紹介 ・国際交流・多文化共生・海外展開支援等に関する業務補助
	⑲	産業労働部	商業・市場開拓課	3日間	1名	・商業振興に関する意見交換 ・アンテナショップの活用、県産品の利用促進に関する意見交換 ・伝統工芸産地の見学と意見交換 等
	⑳	産業労働部	経営改革課	3日間	1名	・ふくいDXオープンラボの見学 ・創業・経営課の業務補助、ほか
	㉑	農林水産部	流通販売課 福井米戦略課	合計 3日間	1名	・流通販売課、福井米戦略課の業務紹介 ・農林水産物の流通・販売などの業務補助 ・いちほまれ・そばのPRに関する業務補助
	㉒	農林水産部	園芸振興課 中山間農業・畜産課	合計 3日間	1名	・園芸振興課、中山間農業・畜産課の業務紹介 ・園芸振興にかかる要望対応・照会業務等の補助 ・中山間地域における鳥獣害対策業務等の補助
	㉓	農林水産部	県産材活用課 森づくり課	合計 3日間	1名	・県産材活用課、森づくり課の業務紹介 ・林業カレッジの人材確保・育成の業務補助等 ・全国育樹祭室の広報・企画の作業補助
	㉔	土木部	土木管理課	3日間	1名	・用地補償業務に関する職員研修の事務補助および同研修の受講等
	㉕	土木部	道路保全課	3日間	1名	・道の駅、地下駐車場など道路管理施設の見学と利活用策立案補助、意見交換等
	㉖	土木部	港湾空港課	3日間	1名	・福井空港の活性化策立案補助、意見交換等
	㉗	教育庁	教育政策課 教職員課 高校教育課 義務教育課 生涯学習・文化財課 保健体育課	合計 3日間	5名	・教育庁の仕事紹介 ・各所属の業務補助 ・学校業務改善、ふるさと教育、学校教育DX等の企画立案・意見交換 ・学校施設リノベーション工事等の見学

(選択番号) 職 種	実習所属		受入 日数	受入 予定数	主な実習内容
(2) 福祉 ・ 心理	①	健康福祉部 総合福祉相談所	3日間	10名	・児相、婦相、障がい相談、精神保健福祉センター業務の補助、見学
	②	健康福祉部 敦賀児童相談所	3日間	3名	・児童相談所業務の補助・見学
(3) 電気	①	産業労働部 県内水道管理事務所等	3日間	4名	[水道管理事務所] ・施設の維持管理 ・設備の改修設計補助
(4) 土木 (総合)	①	農林水産部 (農業土木) 農村振興課	3日間	1～2名	・農業土木行政について ・企画調査業務補助
	②	土木部 建築住宅課 公共建築課	3日間	4名	・建築行政について ・工事の現場監理補助 ・設計業務補助
	③	土木部 県内土木事務所	3日間	10名	・工事の現場監理補助 ・設計業務補助
(5) 農学 林学	①	農林水産部 (農学) 農業試験場	3日間	6名	・育種、作物、園芸研究補助 ・病害虫、土壌肥料研究補助
	②	農林水産部 (農学) 食品加工研究所	3日間	2名	・食品研究補助
	③	農林水産部 (農学) 福井農林総合事務所	3日間	3名	・農家指導補助
	④	農林水産部 (林学) 総合グリーンセンター	3日間	2名	・育種研究補助 ・木材利用研究補助
	⑤	農林水産部 (林学) 県内農林総合事務所	3日間	5名	・造林現地調査補助 ・治山ダム等の監督補助
(6) 水産	①	農林水産部 (水産) 水産試験場・栽培センター 海洋資源研究センター 内水面総合センター	合計 3日間	4名	・魚類飼育・種苗生産業務補助 ・魚体測定、データ分析 ・サンプル魚の測定
(7) 薬剤師	①	健康福祉部 丹南健康福祉センター 衛生環境研究センター	合計 3日間	2～4 名	・飲食店、菓子店検査 ・薬局、登録販売店検査 ・検査業務補助
(8) 化学	①	健康福祉部 坂井健康福祉センター 衛生環境研究センター	合計 3日間	2名	・水質汚濁防止法等検査 ・廃棄物監視パトロール等 ・分析業務、試料採取等現場調査の補助
	②	産業労働部 工業技術センター	3日間	3名	・センター業務内容説明、就業体験 (研究開発の補助、物性測定・評価試験の補助)
(9) 獣医師	①	健康福祉部 坂井福祉センター 動物愛護センター 衛生環境研究センター	合計 3日間	1～2名	・食品等営業施設立入 ・動物取扱業検査(立入) ・犬猫の引取・飼養管理 ・検査業務補助
	②	農林水産部 (畜産もしくは獣医師) 畜産試験場	3日間	4名	・家畜(牛、豚・鶏)の飼養管理 ・繁殖管理
	③	農林水産部 (畜産もしくは獣医師) 奥越高原牧場	3日間	4名	・家畜(乳牛)の飼養管理 ・繁殖管理
	④	農林水産部 (畜産もしくは獣医師) 嶺南牧場	3日間	2名	・家畜(肉牛)の飼養管理 ・繁殖管理
	⑤	農林水産部 (獣医師) 家畜保健衛生所	3日間	4名	・農家巡回指導 ・解剖、精密検査

(選択番号) 職 種	実習所属		受入 日数	受入 予定数	主な実習内容
(10) 保健師	①	健康福祉部 福井健康福祉センター	3日間	2名	・保健師業務の補助・見学
	②	健康福祉部 丹南健康福祉センター	3日間	4名	・難病等相談補助 ・家庭訪問同伴 ・カンファレンス参画 ・グループカウンセリング補助 ・講演会、相談会補助
	③	健康福祉部 二州健康福祉センター	3日間	2名	・保健師業務の補助・見学
(11) 自然保護	①	エネルギー環境部 自然環境課	3日間	1名	・自然公園管理に関する業務補助 ・自然環境保全に関する業務補助 ・里山里海湖研究所の研究業務補助 ※技術(自然保護)または行政どちらか1名
(12) 学芸員	①	交流文化部 若狭歴史博物館	3日間	1名	・資料調査(館外も含む) ・資料整理・受付業務 ・展示監視業務 等

【注 意 事 項】

- ・申込多数の場合は、来年度の就職活動が見込まれる学生(大学3年生等)を優先します。
- ・申込多数によりインターンに参加できなかった学生や、受入希望先での実施が困難な学生については、別途県庁ナビゲーター制度による面談制度を紹介します。  
【「福井県 ナビゲーター制度」で検索】
- ・インターン受入決定後のキャンセルは、受入先所属だけではなく、見学等をお願いしている企業等にも迷惑がかかり、翌年度以降も応募者が受け入れてもらえない可能性もございます。正当な理由なく辞退することは控えていただくようお願いいたします。